

北広島地区 第32回 歯と口の健康週間 図画・ポスターコンクール

日時：平成26年6月7日(土)午後3時30分より
場所：北広島市芸術文化ホールギャラリー

上記会場にて、標記コンクールの表彰式が開催されました。

今年度は小学校から273枚の応募があり、中学校、高校からは137枚、幼稚園からは93枚の応募がありました。

その中から最優秀賞には北の台小学校2年の池松隼之介くん、市長賞には大曲小学校6年の鈴木彩水さん、教育長賞には大曲小学校1年の佐々木誉乃さんが、それぞれ選ばれました。

表彰にあたり来賓としてお招きした上野正三北広島市長、吉田孝志北広島市教育長から直々に表彰状を授与していただきました。当日は受賞者のご父兄の方々など多くの来場者にお越しいただく事ができ、表彰式も滞りなく終えることができました。



また、コンクールの他にも例年同様、市内養護施設(天使の園)において訪問歯科健診(わんぱく歯科健診)を行い、1歳児から就学前児童の歯科健診とフッ化物洗口を行いました。

表彰式後に場所を市内のホテルに移し、反省会を行い、終始活発な意見が飛び交う熱気ある場となった
(平山 健 記)



美 唄

平成26年よい歯のコンクール

日時：平成26年6月6日(金)
場所：美唄市保健センター

上記会場にて、「よい歯のコンクール」が開催されました。3歳児検診でう蝕なしと診断された子供達の中から、歯列、咬合、審美性、受診態度などに優れた子供を選び表彰するというコンクールです。孫歯科医師会長と私とで審査を行い協議の上、優秀賞3人と最優秀賞1人を決定しました。

残念なことに今年の参加人数は22名、私が審査を行うようになって過去10年ほどの中で最少の人数でした。う蝕なしと診断されコンクールにノミネートされた子供達は80名ほどいたということですから、その1/4ほどしかコンクールに参加しなかったということになります。これ以上参加者が減少してしまうとコンクール自体の開催も危ぶまれる状況です。

とはいえ、う蝕のない子供の割合は近年確実に増加しており、お母さん達の口腔衛生に対する関心は高くなっているはずなのです。人口減少、高齢化と子供の数が確実に減少するなか、このコンクールを存続させていくために、私達歯科医師会の一層の啓発努力が必要と感じました。

(吉村裕美子記)

